



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通39  
発行人 宮原良治  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-5139  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

11月の意向

【一般の意向】神と隣人への愛  
【布教の意向】アジアのキリスト者  
【日本の教会の意向】神のことに  
養われる

司祭の黙想会 司牧生活をより深い祈りとともに

10月14日から18日まで、宗像黙想の家にてパリ・ミッション会のジャン・ワレ神父(川越教会)の指導のもと、教区司祭の黙想会が行われた。ワレ神父は司祭は、司牧生活で出会うすべての人々のために祈る必要があること、また日々のミサを信徒、未信徒を問わず、出会った人々のために捧げるよう、促された。



ジャン・ワレ神父



司祭の黙想会に参加した司祭たち

ワレ神父は、列福式を間近に控えているということもあり、講話の中でも度々殉教者のことが言及され、祈りが捧げられた。ワレ神父は、司祭が生涯授ける諸秘跡を通して、長年にわたる宣教師としての経験を分かち合った。まず講話の中で「歩く宣教師」のことが語られ、来日後の宣教師は、当初それぞれの地区で家庭を訪問し、聖書や教理を教え、洗礼を授けて、また次の家庭を訪問するという

が、4月から一人でも多くの入学者があるよう、万難を排して配慮してほしいということである。現在大神学生は3人であるが、彼らが叙階された後は、編入者などがなければ、数年にわたってブランクがあることになる。従ってこの件を最優先課題として、司祭たちにも取り組んで欲しい旨、切なる要求がなされた。さらに第2点は、引退した教区司祭の最後の家を作りたという点である。この家には、長年教区内で働いてくださった宣教会の司祭についても本人の意向を伺った上で、入居していただく方向で検討していきたい。司祭団の中からこの件について検討する責任者(深堀勝人神父)も決まったので、深堀神父を

中心として、まず場所を選定し、部屋の取りなども司祭団の意見を聞きながら、検討に入りたい。

司祭が病気になる時、あるいは老後の心配をしなくてもよいように、この件も早く話しを進めていきたいと司祭は語った。

宮原良治司教は、これから福岡教区を導いていくために、まず現状を知り、分析した上で、教区のビジョンを見据えていこうと望まれている。そのために司祭団、福岡教区修道女連盟、福岡教区信徒使徒職協議会それぞれに、「福岡教区の緊急の課題は何か、中長期的課題は何か」と諮問し、それぞれの立場から答申を作成して提出するよう求めた。これを受けて、新

司祭評議会年4回開催迅速な取組へ

しく宮原司教のもとで設立された司祭評議会が7月に開催され、意見交換がなされた。しかし、福岡教区の全司祭に聞く必要があるとの意見があり、各地区の司祭集会でこの問題を司教を交えて討議し、そこで出された課題を集約し、もう一度司祭評議会を開催して討議することになった。この流れで9月30日(火)に司祭評議会が開催された。評議会では、各地区の司祭

団の意見をもとに、司祭召命、司祭の生活、司祭の生涯養成、小教区制度、信徒の養成と奉仕、幼稚園、宣教の7つの課題に問題を集約した。そして、これらがすべて緊急であり、同時に中長期的な課題として腰をすえて取り組む必要があることを確認した。その上で、信徒の協力を求める必要がある課題については、信徒、修道者を交えて、一緒に課題についての話し合いが必要であること、7つの問題を同時に取り組むと力が分散されてしまう恐れもあることから、とりあえず、司祭に関する問題については司祭団で動き出すこととした。

司祭召命、司祭の生活、生涯養成について、それぞれ小委員会を立ち上げて、課題を分析し、誰が、どのように取り組んでいくべきかを検討す

らがある。殉教者たちの流した血が、長い時を経て、いまこの地で芽生えようとしている。列福の恵みがわたしたちに、何を悟らせ、どこへ導くのか。いまこそ、目覚めなくてはならない。信仰の感覚を研ぎ澄ますのだ。ともに祈ること、互いに伝え合うことを通して信仰のきずなを深めていきたい。この恵みの芽生えを確かな成長へとつなげていくために、わたしたちはなにをすればよいのか。殉教者の語りかける声にじっと耳をすまそう。

(崎津・大江教会主任)

今年、聖パウロの年である。ヨーロッパを駆け巡ったパウロは、数多くの人々に洗礼を授けたと思われるかもしれないが、意外なことにコリントの信徒にこんなことを書き送っている。「クリストとガイオ以外に、あなたがたの誰にも洗礼を授けなかったことを、私は神に感謝しています。キリストが私を遣わされたのは、洗礼を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためなのです。」(1・14・17)パウロがこう言ったのは、コリントの教会に分裂や派閥争いがあったからだとされる。パウロは、福音が人間の虚栄心や自尊心などに利用されることに我慢がならなかった。▲とて、日本の小委員会に代表を選出してもいい、次回、来年の2月3日に開催される司祭評議会までにある程度まとめ、それを受けて、司祭団としての答申を作成することになった。

また、課題に迅速に取り組んでいくために、これまで司祭評議会は年2回の開催だったが、今後は年4回開催することとなった。

尊き面影のマリア松崎静江修道女(女子蹴足カナル修道会)、10月2日も膜下出血のため帰天。享年78歳。修道生活56年。山口県萩市出身。福岡カナル会で祈りと労働の日々をおくった。

列福式に参加できない方のためのミサ

■11月24日(当日) 15時  
場所:カテドラル大名町教会  
司式:櫻井尚明神父

福岡教区内列福感謝ミサ

■11月30日(日) 14時半  
場所:カトリック小倉教会  
司式:ドミニコ宮原良治司教

2009年福岡教区年間行事予定

①司祭新年の集い  
日時:1月13日(火) 11時  
場所:カテドラル大名町教会

②司祭総会  
日時:1月26日・27日  
場所:後日連絡  
対象:福岡教区で奉仕する全司祭

③司祭評議会  
日程:2月3日(火) 5月19日(火) 9月8日(火) 11月10日(火)

④教区宗教法人立幼稚園  
新任教職員辞令交付式  
ならびに研修会  
日時:3月31日(火) 11時から

⑤聖香油ミサ  
日時:4月7日(火) 15時から  
場所:カテドラル大名町教会

\*ミサ後叙階金祝・銀祝・10周年司祭の祝いなど  
⑥教区内全司祭研修会  
日時:6月23日(火)~25日(木)

⑦パウロ年閉幕ミサ  
日時:6月28日(日) 14時から  
場所:カテドラル大名町教会

⑧宮原司教霊名の祝い  
日時:8月7日(金) 11時から  
場所:カテドラル大名町教会

⑨教区墓地ミサ  
\*司教ミサ  
北九州地区  
8月(日時は未定)  
福岡和田墓地

⑩教区邦人司祭黙想会  
日時:10月19日(月)~10月23日(金)  
場所:福岡黙想の家

◆福岡教区行事の予定で、できるだけ小教区に行事が重ならないよう工夫をお願いいたします。また、教区行事への積極的な参加もお願いいたします。

文責:福岡教区事務局



文責:福岡教区事務局

殉教者小笠原玄也家族の『遺書』 その⑩ 終り

いのちの旅立ちを前に……

第16号遺書

ご心配のことではと危惧し、この手紙を書きました。私たちのことは宗教の理由で死ぬことになりました。さぞあなたも心残りも多いと心中は思っています。あなたも一度は転びましたが、ずっとそれを捨て去ることはできませんので、転び返しをして信念を貫いてください。叔父様たちは母親を叱りましたが、これは母親一人の責任ではございません。皆さまはこのへんの事情が分からず、そのように判断したに過ぎません。その理由もそれ以上理解できていません。思い込みで過ぎません。明日命を終わる日まであなたのことのみ思い起こしてあります。この数年親しくしてくださったこと決して忘れません。一度はお会いできると朝夕願っておりましたが、今は単なる夢になってしまいました。あなたのご家族の中であなた一人私たちに何かと助言下さいまして親切にしてくださいましたので、お目にかかれなくても、朝夕あなたの噂をしてはその懐かしさを表現することはできません。ご主人様も長年の浪人の身の上のこととて、大変だろうと思っております。ご主人様が生計のことはあなたに任せていると思われませんが、ご主人様は24・5年も浪人です。あなたが全部を考えていかないとはいけません。あなたと母親と常々話しています。母親はこの世でもう一度お会いできぬことを実に心残りだと感じています。あなたに今一度お会いしたいところには仕方ありません。何度かを言っても仕方がありませんのでここで筆を置きます。

叔母様 ご家族様

小笠原玄也家族の『遺書』を連載してきました。この16号が最後の遺書です。これらの遺書を書き綴った一族に列福式でお会いできるのではないかと、受取人には届くことがなかった残念な思いの遺書ですが、わたしたちがこのようなように読ませていただくことに奇しき神の計らひを感じます。



司祭館の窓

聖なる読書 (4)

みことばを生きる 「観想」

読書の中で見た味わった。読書の中を大いに味わった。重要な時に、それを心に留めておきましょう。聖霊の中に含まれているみことばを通して、語りかけている神の招き、そのメッセージに答えましょう。友が友に語るように、神と話し合うこと。安心して神と話ししましょう。愛する者と

愛される者が散歩しながら語り合い、再会の喜びを喜びながら、黙って互いにそばにいて、ただ十分だという感じ。目と心だけで語り合うでしょう。神は読書する私たちに、ご自分を与えられます。神の近くにいてという実感は沈黙の中です。聖なる読書は、生活の学びやでもあります。ここから私たちが「神から遣わされた者」として派遣するためです。みことばを生きるというのは、そのことばを実現すること。置かれていた現場で、日々出会う人々に、受けたその平和を分かち合います。

この連載をまとめましょう。聖なる読書の前提は、聖霊への祈願、聖書はみことばです。読書：ゆつ

国籍を越え出会った愛

小学三年 李 きゅり 若松教会信徒

わたしは韓国人です。おとうさんのしごとで日本に来ました。わたしは、韓国の言葉もやると話せるようになった頃に日本に来たので、日本語はもちろん全く話せませんでした。

お母さんは、私を幼稚園に入れようとおうちを捜して回ったようですが、お母さんも日本語が話せるわけではありません。仕方なく英語で話して幼稚園を探しました。でも、断られるばかりの毎日だったそうです。そして、一本の電話がかかってきました。「教会に来てみませんか。」お母さんが泣きながら、「イエス、センキュー」といったのを、覚えています。お母さんは、日本語もわからない日本、私の幼稚園を見つけたこと、日本語がわからないのに受け入れてくれる気持ち。

『聖なる読書』とは、聖書の箇所にとどまり、何度も箇所を読み返し、箇所を「思いめぐらし」、箇所に含まれた「果汁」をすべしぼり出すことです。こうして、個所の「果汁」は黙想と観想の糧となり、具体的な生活を潤すことができます。「聖なる読書」を行うための条件は、精神と心が聖霊の光によって、すなわち聖書に靈感を与えた方自身によって照らされることです。

教皇ベネディクト16世が度々聖なる読書について熱心に話され、再興を促されました。

ちがうれしかったのよと何度も話してくれました。そして、若松天使園の年少組に入りました。泣いてばかりの毎日です。日本と韓国はお隣で、顔つきもとてもにているのに、使う言葉はまるで違いました。うちの玄関から一歩外に出ると、まるで別の国。友達の話す言葉が全くわかりません。世界でたったひとりぼっちになったような気がして、幼稚園は怖かったです。初めて覚えた言葉は「スプーン」お弁当を食べるときに、先生が「スプーン持つてごらん」と何度も言ってくれたから。そのつぎは、「こっちにおいでよ。」みんながにっこり顔で、泣き虫の私を、手招きで呼んでくれたので行ってみました。言葉はわからないけれど、友達の良いこと、がわかってきはじめたころ、「ありがとう」と言えるようになっていきました。

今は、日本語の方が、韓国語よりかんたんです。でも、昔は違いました。幼稚園の先生と友達にいつ

た。『聖なる読書』とは、聖書の箇所にとどまり、何度も箇所を読み返し、箇所を「思いめぐらし」、箇所に含まれた「果汁」をすべしぼり出すことです。こうして、個所の「果汁」は黙想と観想の糧となり、具体的な生活を潤すことができます。「聖なる読書」を行うための条件は、精神と心が聖霊の光によって、すなわち聖書に靈感を与えた方自身によって照らされることです。

12使徒は聖務に忙しくなったので、食事の世話をする人を7名選んだ。その中の1人、ステファノは霊によってすばらしい説教をしたので、彼と議論する人は歯がたたなかった。遂に訴えられて、最高法院で弁明することに。だが、その顔はさながら天使のようであった。彼は聖霊に満たされ、天が開いて、人の子が神の右に立つておられるのが見える、と言った。人びとは我慢ならず、都の外に引き

も心の中で思っています。「泣き虫だった私に、日本語を教えてくれて、ありがとうございます。」

日本と韓国は、昔はとてもなかがわるかったそうです。わたしは、いつもの生活

言葉は通じなくても、心は通じあえるという体験から始まりました。日本がどれだけ、裕福な生活を送れているかということ。タイの子どもたちには、たくさん小さなやさしさ、心温まる笑顔ももらいました。私は、タイに行く前には、すぐにいやな事があつたら笑顔がなくなったり、人に冷たくなっていたのかもしれない。このことに気づけたのは、タイに行つてから気づいたこと、タイに行つてからしか、気づけなかったことだと思えます。

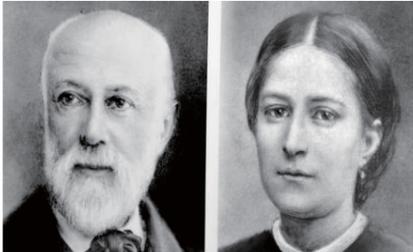
私はタイを離れる最後の日に、こんなことを知らされた。それは「子どもセンターにいた子ども20%はHIV

で、ごこの人も仲良くでき、困っている人がいたら、私に助けを求めたいです。そして、いつか、韓国と日本のために働ける人になりたいです。

感染症だということ。私は、信じられませんでした。子どもセンターにいた子どもたちは、みんな男女関係なく同じように笑顔でいてくれたし、みんな明るく元気でした。みんな明るく元気でした。みんな明るく元気でした。

私はタイを離れる最後の日に、こんなことを知らされた。それは「子どもセンターにいた子ども20%はHIV

聖テレジアの両親 列福 10月19日(日)、幼きイエスの聖テレジアの両親、ルイ・マルタンとゼリー・グランが夫婦共に列福されました。



父=ルイ・マルタン 母=ゼリー・グラン

坂牧春妙 坂牧春妙 現代の結婚生活のあり方を祈ることもできます。

待降節の黙想会 ご案内 ① 12月6日(土)~7日(日) 指導:内山恵介神父 ② 12月13日(土)~14日(日) 指導:来住英俊神父 ③ 12月20日(土)~21日(日) 指導:来住英俊神父 カトリック福岡黙想の家 聖堂/洋個室(洗面トイレ付)/冷暖房/浴室シャワー室/障害者用トイレ/エレベーター カトリック御受難修道士会・宗像修道院 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385 http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) ヴィノ デ ミサ VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰 〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち 草苑 (SOU-EN) カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社 TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

第8回諸宗教平和の祈りの会 真命山



2年に一度、いろいろな宗教の代表者が真命山に集い、世界平和のための祈りの会を催している。今回は8回目を迎え、大本、天台宗、曹洞宗、浄土真宗、立正佼成会、生命山シユバイツアー寺、ルーテル教会、カトリック教会、総勢50名程が集まった。熊本地域諸宗教対話研究

6回目の「やすらぎの集い」 久留米



聖マリア病院で、「やすらぎの集い」が開催された。この集いは、病氣療養中の方々の「こころ」からたのやすらぎを願うとともに祈る集いである。6回目を迎えた今年には宮原司教を迎え、約80人が病院内にある「ルルドの泉広場」に集まった。

近頃の若いモンは 一青年による青年事情通信 教会での結婚式

教会によって状況は違っていると思うが、教会で結婚式をする人が少なくなっているような気がする。信者でも教会とは別の式場で結婚式をしている。それはひじょうに残念なことであり、また淋しく、悲しくさえも感じることがある。信者は教会で式をしなればならない。それは単なる義務ということではない。

く、ぜひして欲しいという教会の強い望みでもある。強い望みであるからこそ、義務として定められているのである。教会で結婚するということは単に教会を式場として選ぶということではない。命の与え主である神の前で結婚の誓いをして、これから始める新しい生活の上に神の豊かな祝福を願うという意味がある。そのため、少し極端な言い方かもしれないが、教会は式そのものと同じくらいに結婚の準備を大切にしているのである。

教会での挙式が減っている背景には多々の理由がある。若者の教会離れ(教会の方が青少年から離れていく?)、ミサ参加者の減少。ひいては、信仰生活と社会生活との遊離?価値観がゆらいでいる時だからこそ、結婚を機に人生の意味をしっかりと見つめたい。最近、カトリック青年同士の結婚が何組か続いていると聞く。喜ばしいことである。(続) 行橋教会主任 山元眞神父

会、フランコ神父をはじめとする真命山のメンバー、玉名教会の信者、地元崎浦の住民の方々の協力を得て、諸宗教対話研究会の代表上村道雄氏の司会ですすめられた。真命山の本堂において、それぞれの宗派の代表者が自分の宗派の伝統に従って平和のための祈りを捧げ、平和の誓いの署名をし、全員で平和のために尽くすことを再確認した。

の子どもたちが参加し、思いを一つにして祈りのひと時を過ごした。また集いの中で、宮原司教、マグリン神父(聖マリア病院チャプレン)、浦川神父(久留米教会主任)が参加者一人ひとりに按手を授けた。

の方々のもとを訪ね、祈ってほしいと懇願していることを明かした。神様に一番大事にされ、愛されているのは病氣の人々であること、聖書にある通り、イエス・キリストは何よりも病氣の人々の隣人になつていられることを告げ、希望と励ましを参加者に与えた。「常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々とともに歩む」ことを基本理念とする聖マリア病院にとって、祈りによる連帯は大きな支えである。

2007年4月15日に発足した宗像ザビエル聖堂再生プロジェクトは4チーム構成で動き出している。その内チーム1は市民と共に聖堂再生を進める「再生コミュニティ」(労働・技術)で、2008年10月7日に毎週水・木曜日ボランティアの日と決め、石段・石柱についたモルタル落としを始めた。石工事が始まる1月10日まで延べ274人が参加して終えた。石工事は3月31日に終えて、石段と石柱を組み立てた。4月6日立柱式には鹿児島から34人の参加者があり、合計62人の前で祝別が行われた。

☆聖クララ伝 沈黙と記憶のはざままで マルコ・バルトリ著 宮本順子訳 中世イタリア、アシジの修道院の沈黙の中に閉じ込められた聖クララ。本書は最新の研究成果をふまえて、列聖に際して教皇の命によって書かれた「聖なるおとめクララの生涯」を、その直後の資料である列聖調査記憶と照らし読み直したものである。 まったく新しいクララの姿であった。それは中世の枠を破る新しい自覚を持った女性像である。 サンパウロ発行 1680円(税込価格) ◇◇◇ ☆日本の教会の歴史 ザビエルからはじまった 結城了悟著 1549年8月15日、戦国動乱の日本に二人の仲間と共に上陸したフランシスコ・ザビエル。彼が伝えたキリストの教えに命をかけた日本の教会は、過酷な弾圧の中を生き抜いた。歴史を知ることには自分を知り、未来を拓く。 女子パウロ会 1365円(税込価格) ◇◇◇ ☆ベト口岐部と187殉教者 歴史・巡礼ガイド 「カトリック生活」誌で連載された「一八八まるちれすの地を訪ねて」に、よりくわしい解説、新たな資料写真や巡礼地案内を添え、殉教についてのカトリック教会の教え、列福豆知識、殉教と時代背景、キリストの信仰、などの記事を加え、装いも新たな充実の一冊をなりました。 ドン・ボスコ社 1050円(税込価格)

カトリック難民移住移動者委員会

第4回長崎教会管区外国人セミナー 共同宣言

私たちはテーマ「愛と理解・外国人信徒と日本人信徒をつなごう」を目指して、九州各地から熊本に集まりました。そして私たちは、外国人信徒が日々増えている日本のカトリック教会で、外国人信徒が活躍できる場を創出するために、外国人信徒と日本人信徒が互いの理解を深め、共に歩むことを目指しています。外国人信徒は日本に生活する中で、様々な苦しみや悩みを抱えています。外国人信徒が安心して生活するために、私たち日本人信徒が外国人信徒の生活を支えることが大切です。外国人信徒が安心して生活するために、私たち日本人信徒が外国人信徒の生活を支えることが大切です。

- ① 外国人信徒を小教区においてお客としてではなく、積極的に迎え入れたい。責任を分かち合ってください。
② 外国人信徒が喜んで参加できる、多文化共生の教会と典礼にしてください。外国人信徒も日本人信徒の中に積極的にかかわりましょう。
③ 多言語によるミサを、もっと増やしてください。典礼によって日本人信者と理解と一致がすすみますように。
\* 9月23日熊本マリスト学園で行われた長崎教会管区外国人セミナーの結果として当日出された宣言です。



ゼノ修道士の写真展

10月4日から9日まで福岡市赤煉瓦文化館(天神2丁目)で行われた写真展には、611人が訪れ、ゼノ修道士の姿に感動した。ゼノ修道士の姿は、40年前、東京の電車の中で出会ったという人の姿もあった。

郵便振替口座番号: 01720-1-44311 加入者名: NPO法人文化財保存工学研究室 問合せ先: TEL 0940-33-9004 宮原司教様の許可を頂き再生事業への寄付の依頼をさせていただきます。貴重な文化財保存への理解も加え上記への寄付をお願いします。土田充義



秋空のなかで てんてんまつり

「宗像てんてんまつり」は大勢の参加者で埋まった。シスター高木慶子の特別講演会場は身動きできないほど。NPONなどの出店、カレーやうどん、餅つきでは杵を振り上げる宮原司教の姿もあった。 午後の感謝ミサは例年と会場を移し「へそ広場」で宮原司教主式のミサが行われた。 「今年もこれだ。元気」という声を交わす常連の参加者は九州各地から来ている。ボランティアの信徒も広範囲。これが「てんてんまつり」。



聖堂再生着実に進む

2007年4月15日に発足した宗像ザビエル聖堂再生プロジェクトは4チーム構成で動き出している。その内チーム1は市民と共に聖堂再生を進める「再生コミュニティ」(労働・技術)で、2008年10月7日に毎週水・木曜日ボランティアの日と決め、石段・石柱についたモルタル落としを始めた。石工事が始まる1月10日まで延べ274人が参加して終えた。石工事は3月31日に終えて、石段と石柱を組み立てた。4月6日立柱式には鹿児島から34人の参加者があり、合計62人の前で祝別が行われた。

不動産全般/売買・賃貸・管理 ほんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病氣について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市上白水 5-11-102 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山 森山 新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 ☎(092)811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM10時~PM6時 日・祝日/AM11時~PM4時(水曜日定休日) TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日時：2008年11月23日(日) 15:00
場所：カテドラル大名町教会
講師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)
参加費：1回 500円
資料：カトリック教会のカテキズム

聖パウロに学ぶ神学講座

- 第1回 11月16日 [開講式・パウロの生涯] 牧山勝美神父
第2回 12月14日 [伝道旅行] 牧山美好神父
第3回 1月18日 [使徒としてのパウロの心] 最頼巖流神父
第4回 2月15日 [パウロの宣教の仕方] 下町豊重神父
第5回 4月16日 [三位一体の神] 青木 悟神父
第6回 5月17日 [福音宣教を考える] 宮原良治司教

聖書週間特別 記念講演会 パウロを学ぶ

PART II 「パウロの手紙を読む」
日時：2008年11月16日(日) 受付13:30
場所：カトリック大名町教会
講師：鈴木信一神父(聖パウロ修道会司祭)
参加費：500円
主催：福岡教区聖書委員会
協賛：聖パウロ修道会
\*パウロが100倍楽しくなります。

第61回 福岡市民クリスマス

合唱と合奏の夕べ & クリスマスメッセージ
日時：12月8日(月) 開場19:30
場所：福岡市民会館大ホール
合唱：福岡市民クリスマス合唱団
演奏：福岡市民クリスマス合奏団
メッセージ：踊一郎牧師(西南学院バプテスト教会)
参加費：無料

糸島 マザー・テレサ愛の映画祭

内容：①映画 母なることの由来
②"愛"と"いのち"のミニコンサート
③映画 母なるひとの言葉
入場料：無料
ところ：前原市伊都文化会館
とき：11月8日(土) 12:30 開場
主催者：糸島マザーテレサ愛の映画祭実行委員会

列福式実行委員会救護部から

式当日の救護本部(会場1階1塁側屋内練習場)
式当日の電話番号 095-845-6222

福岡教区広報室アドレス
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板 会合と催し

11月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 11月

- ◇1日(土)~2日(日) アクティブ・ペアレント・ジャパン 修養会
◇6日(木)~8日(土) 防府カトリック教会婦人会黙想会
◇8日(土)~9日(日) 山口・島根信者養成研修会
◇9日(日)~10日(月) 聖マリア在俗会黙想会
◇15日(土)~16日(日) 在世カノッサ会黙想会
◇19日(水) 北九州チエナクルム
◇22日(土)~24日(月) ゆふの会 修養会

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・日時：11月13日(木) 10時~15時
・内容：『聖霊による祈り』
指導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：11月15日、12月6日 第1・第3土曜日 10時~12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

- 2日(日) 死者の日 唐津教会堅信式
3日(月) 召命の集い(大神学校) 文化の日
4日(火) (宗法)カトリック幼稚園園長会合
5日(水) 教会行政法制委員会(中央協)
6日(木) 常任司教委員会
8日(土) †M.マッコネル [2005年手取教会]
9日(日) ラテラン教会の献堂
11日(火) 戸畑教会公式訪問
16日(日) 教区和田墓地ミサ(14時)
17日(月) 日韓司教交流会(韓国~13日)
18日(火) 年間第33主日(聖書週間~23日)
19日(水) 伊万里教会堅信式
20日(木) †浦口均 [2007年老司教会]
21日(金) 佐賀地区司祭集会
22日(土) 福岡教区幼児教育連盟例会/司教顧問会
23日(日) 聖マリアの奉献
24日(月) 聖セシリアおとめ殉教者
25日(火) 王であるキリスト 勤労感謝の日
26日(水) 箱崎教会創立50周年閉幕感謝ミサ
27日(木) 188殉教者列福式(長崎ビッグNスタジアム)
28日(金) 列福感謝ミサ(長崎・中町教会)
29日(土) †M.C.ハイメ [2003年]
30日(日) 待降節第1主日/†春山勝美 [2007年高宮教会]
12月 田川教会堅信式/教区列福感謝ミサ(小倉教会)
1日(月) 福岡地区司祭集会(光丘教会11時)
2日(火) 聖フランシスコ・ザビエル
3日(水) 常任司教委員会(中央協)
4日(木) 待降節第2主日/宣教地司教育成の日(献金)
5日(金) 鳥栖教会堅信式/八代教会殉教祭
\*ゴチック文字は、司教日程
\*司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

召命の集い 2008

テーマ：『与え尽くそう "I・Eve・愛"』
~私の愛にとどまりなさい~ (ヨハネ15:9)
日時：11月3日(月) 8時半 受付
場所：福岡サン・スルピス大神学院
☆楽しいこともたくさん準備して大神学生
みんなで待っています。来てください!

- 福岡祈りの会
(日時) 毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会(問合せ) (内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(代表 Br.床嶋(問合せ) ☎092・551・6279 松本)
■在世フランシスコ会集会 (日時) 11月16日(日) 14時から(場所) 高宮フランシスコ修道院在俗会集会所(内容) アシジの聖フランシスコに就いて、福音に生きるために。ミサと学習(指導) 戸村悦夫神父(問合せ) ☎092・843・5831 岩崎
■福岡ホスピスの会勉強会 (日時) 11月16日(日) 14時から(場所) カトリック大名町教会3階(内容) 子どもを亡くした親の悲嘆の分かちあいです(参加費) 600円(連絡先) ☎090・11662・639 5 柴田
■召命祈願ミサ (日時) 12月11日(木) 19時30分から(場所) サン・スルピス大神学院聖堂(問合せ) 浦川務神父(教区召命担当司祭・久留米教会主任)
■美野島司牧センター ホームレス支援のための炊き出し等への協力をお願いします。また、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも併せて募集しています。(問合せ先) ☎092・4331・1419 コース・マルセル神父
■北九州召命を共に祈る会 (日時) 11月13日(木) 14時から(場所) カトリック北九州岡市南区塩原(内容) 死者ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686 堺
■召命を共に祈る会 (日時) 11月20日(木) (場所) 八代巡礼(問合せ) 浦川務神父(教区召命担当司祭・久留米教会主任)
■小倉祈りの集い (日時) 11月28日(金) 13時半から15時(場所) 小倉カトリック教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会) (内容) 「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎090・3985・5209 松田裕子

福岡地区納骨堂委員会 お知らせ

死者のためのミサ
日時：11月9日(日) 14時
場所：和田墓地(福岡市南区)
主式：宮原良治司教
◆正午から開放しています。
納骨など問合せは各小教区納骨堂委員へご相談を。

北九州

北九州召命を共に祈る会
(日時) 11月13日(木) 14時から(場所) カトリック北九州岡市南区塩原(内容) 死者ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686 堺
■召命を共に祈る会 (日時) 11月20日(木) (場所) 八代巡礼(問合せ) 浦川務神父(教区召命担当司祭・久留米教会主任)
■小倉祈りの集い (日時) 11月28日(金) 13時半から15時(場所) 小倉カトリック教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会) (内容) 「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎090・3985・5209 松田裕子

熊本

カトリック看護協会福岡支部の集い (日時) 11月9日(日) 14時30分から(場所) イエズスの聖心病院会議室(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr.竹内
■熊本地区召命を共に祈る会 (日時) 11月13日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

編集後記

いよいよ列福式が近づきました。日本の教会にとって大切な時を迎えようとしています。海外ではリジーの聖テレジアのご両親が列福されたという報道に接しました。ご夫婦の間には9人の子供が生まれましたが、結核などのために4人が夭逝し5人の娘たちは次々とカルメル会に入会しました。テレジアは幼くして母を失いましたが、母親のようにテレジアを世話してくれた姉の入会は幼いテレジアの心に大きな影響を与えたとされています。子どもたちを神様に捧げつくされたご両親の信仰は、現代を生きている私たちにも大きな励ましとなります。来月号は、列福特集号で、一週間遅れの発行となります。ごきげんよう!

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ペトロ 平田 清

医療法人 聖マリア病院
募集
「医師」「看護師」
〒830-8543 福岡県久留米市津浦本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表) FAX 0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

天然素材の健康住宅
ナガシマ建築工房
〒830-8543 福岡県久留米市津浦本町422番地
TEL 092-871-0063

サンパウロ福岡宣教センター
11月死者の月 先祖のために祈りましょう
1階 聖書・信心書 聖人伝 祈祷の朗読 絵本 一般講義
2階 家庭菜園 子育ての知・こころ 英語 CD・DVD
営業10:00~18:00(待降節中の日曜日・定休日・日曜日・祭日・駐車場完備)
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 TEL 092-721-2032